

# 鶴見大学紀要

## 第 53 号

### 第 1 部 日本語・日本文学編

#### 目 次

##### 古代物語のリアリティ

——『源氏物語』『末摘花』巻の方法—— ……………奥村英司 ( 1 )

『中書王御詠』注釈稿(一) ……………中川博夫 ( 17 )

##### 康成と虚子についての一考察

——「わが愛する文章 愛子抄」を視点として—— ……………山田吉郎 ( 87 )

##### 『呂氏春秋』に見える秦墨の思想

——尚賢思想の形成をめぐる——……………田中智幸 (113)

鶴見大学紀要投稿規定 …………… (左 5)

〔彙 報〕……………教員研究業績一覧 (左 1)

## 鶴 見 大 学

2016 年 3 月 (平成 28 年 3 月)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY

VOLUME 53    PART 1

STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND  
LITERATURE

CONTENTS

OKUMURA, Eiji : Reality of Ancient Story

— Method of the Tale Of Genji, Suetsumu-hana Winding —

NAKAGAWA, Hiroo : Preliminary Study of the *Chushoō Gyoei*, Part 1

YAMADA, Yoshiro : Yasunari Kawabata and Kyoshi Takahama

— From a Viewpoint of the Structure of “Aikoshō” —

TANAKA, Tomoyuki : The Thoughts of 秦墨 as Expressed in the 吕氏春秋

MARCH 2016

# 鶴見大学紀要

第 53 号

第 1 部 日本語・日本文学編

鶴 見 大 学

# 〔彙 報〕

## 教員研究業績一覧（2015・1 ～ 2015・12）

小 林 恭 治

〔共著〕

『比較文化事典』

関東学院大学国際文  
化学部比較文化学科  
編 明石書店

2015・2

西念寺本類聚名義抄における増補と脱漏  
―異本注記の有無について―（十）

『鶴見大学紀要』

52号 第四部

人文・社会・自然科  
学編

2015・3

中 川 博 夫

『竹風和歌抄』注釈稿（五）

『鶴見大学紀要』

（日本語・日本文学）

52号

2015・3

僧正公朝の和歌注釈稿（一）

『鶴見日本文学』

19号

2015・3

松 本 文 子

〔論文〕

「大名道具大源氏―尾州家河内本「源氏物語」  
の出現―」 2015・3

『国文鶴見』49号

2015・3

〔資料〕	『鶴見日本文学』
「【略年譜】 古筆目利 恒川了廬（一）末尾再掲 補—徳川林政史研究所蔵、渡辺半蔵家文書より —」	19号 2015・3
【作品発表】	
〔協賛出品〕	愛知教育大学書道専 攻12期生・書友会 卒展
「うたゝねは荻ふく風におどろけどながきゆめ 路ぞさむる時なき」 （『新古今和歌集』、崇徳院歌）	OB協賛作品展 2015・2～3
〔賛助出品〕2点	鶴見大学文学部日本 文学科第49期書道 履修生卒展
「おく山のおどろが下も踏み分けて道ある世ぞ と人に知らせむ」 （『新古今和歌集』、太上天皇（後鳥羽院）歌）	2015・3
〔臨観音経〕	
〔賛助出品〕2点	鶴見大学第51回紫 雲祭書道部展示
「月の澄む軒端にかくる蜘蛛の網のあるかなき かの身をいかにせむ」 （『夫木和歌抄』、民部卿為家歌）	2015・10
「臨孟法師碑（観太陽始旦…）」	

### 三 宅 知 宏

【論文】	
対照方言研究の試み —不定語疑問文をめぐる—	『鶴見大学紀要』 52号 2015・3
日本語の「補助動詞」について	『鶴見日本文学』 19号 2015・3

日本語の「補助動詞」と「文法化」・「構文」 『日英語の文法化と構文化』  
ひつじ書房  
2015・11

【学会発表】

(青木博史、川瀬卓、吉田永弘の各氏との共同) 日本語学会 2015 年  
ワークショップ「日本語の構文と構文変化」 度春季大会 (関西学  
院大学)  
2015・5

【研究発表】

Kakarimusubi and Wh-Interrogative Sentences 国際ワークショップ  
in Modern Japanese (現代日本語の不定語疑問 「比較的観点から見  
文と「係り結び」) た『係り結び』」国  
立国語研究所  
2015・9

【講演】

日本語の「文法」を考えると 東京言語研究所  
2015 年度春季講座  
2015・4

山 田 吉 郎

【論文】

「昭和一四、五年のアンケート回答四篇 山内祥史編  
一時代へのまなざし」 『太宰治研究』 23  
和泉書院  
2015・6

教員研究業績一覧

「『秘密のスイーツ』論—昭和十九年の蒸しパンの味—」

『現代女性作家読本  
20 林真理子』

鼎書房

2015・9

## 鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

**第1条** 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

**第2条** 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

**第3条** 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

**第4条** 紀要の部編は4種類とし、その邦文及び欧文の標題は次のとおりとする。

一 鶴見大学紀要 第1部（日本語・日本文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1  
(STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)

二 鶴見大学紀要 第2部（外国語・外国文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2  
(STUDIES IN FOREIGN LANGUAGES AND LITERATURE)

三 鶴見大学紀要 第3部（保育・歯科衛生編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3



(STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL  
HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第4部 (人文・社会・自然科学編)

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4  
(STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL  
SCIENCES)

(発行の回数)

**第5条** 紀要は、年度内に1回発行することを原則とし、その時期は年度末3月とする。

(提出原稿)

**第6条** 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

**第7条** 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

**第8条** 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

**第9条** 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

**第10条** 50部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

**第11条** 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。  
ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等に利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの

指摘がなされた場合には、著者がその責任を負う。

**附 則** この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

## 前 号 目 次

### 疎外と孤立

——古代物語における主人公と読み手—— ..... 奥村英司

『竹風和歌抄』注釈稿（五） ..... 中川博夫

東海大学付属図書館・桃園文庫蔵

〔古今集略抄〕（為重注）翻刻 ..... 伊倉史人

鶴見大学紀要投稿規定

〔彙 報〕

### 対照方言研究の試み

——不定語疑問文をめぐる—— ..... 三宅知宏

## 本号執筆者一覧

- |      |                |
|------|----------------|
| 奥村英司 | (短期大学部准教授・国文学) |
| 中川博夫 | (文学部教授・国文学)    |
| 山田吉郎 | (短期大学部教授・国文学)  |
| 田中智幸 | (文学部教授・漢文学)    |

鶴見大学紀要 第五三号

第一部 日本語・日本文学編

二〇一六年三月一〇日 印刷  
二〇一六年三月一五日 発行

発行人 伊藤 克子

印刷所 三美印刷株式会社  
116  
0013 東京都荒川区西日暮里五―九―八

電・東京(3803)三二三一

発行所 鶴見大学

230  
0063 横浜市鶴見区鶴見二―一―三

電・横浜(045)581二〇〇二代